

Mi Vida en México

あっという間に4月が終わり、メキシコ生活残り3ヶ月となってしまいました。メキシコに来てからの半年間、メキシコ文化に触れる機会が多くありましたが、それ以外の文化についても感じたり、考える機会も多くあります。

特に4月はメキシコシティで様々なイベントがあり、メキシコ文化以外の面に触れることが多い1ヶ月でした。今月のレポートはそのような面について経験したことを紹介していきたいと思います。

メキシコで大人気 アジアの文化 - 映画「すずめの戸締まり」

メキシコで生活していると1日1回は日本語が書かれたTシャツ、もしくは日本のアニメのグッズを身につけたメキシコ人を見かけます。好きなキャラクターのタトゥーを入れる人も多く、初対面のメキシコ人とは必ずと言っていいほど、アニメの話になります。アニメの話では、日本人である私が知らないことも多くあるくらいメキシコ人のアニメ愛の強さを実感しています。

4月にメキシコでは映画「すずめの戸締まり」が公開されました。メキシコの国立映画館“National Film Archives of México”でも上映され、国立の映画館なので、わずか40ペソ（300円）ほどで鑑賞することができました。映画は、日本

語音声でスペイン語の字幕付き。平日の昼間にも関わらず、映画館はメキシコ人で満員となりました。

日本の南から北まであらゆる風景の描写や方言など、日本の良さが全て詰まった映画でした。個人的には、メキシコで日本語を使うことはありながらも、方言に触れる機会は少ないので、広島に近い地域の言葉は親近感を感じました。また、東日本大震災を含めた「地震」のシーンが多くあり、そのような出来事を風化させないために、映画を通して、海外に発信するのは非常に貴重な機会になったのではないかと感じました。

少し複雑なストーリーをスペイン語字幕のみで理解するのは、メキシコ人にとって難しかったようですが、日本で制作された映画が海外で上映されている様子を実際に見ることができて、日本人として誇らしく思いました。



足にアニメ「ナルト」のタトゥーを入れているメキシコ人の友達



映画「すずめの戸締まり」のポスター

メキシコで大人気 アジアの文化 - BLACKPINK

アジアの文化がメキシコで人気なのは、日本のアニメだけでなく、韓国アイドルの存在も大きいです。街を歩いているとよく、「一緒に写真撮ってください」と話しかけられます。韓国アイドルの活躍によって韓国人への人気が高まっているようで、韓国人に見えた私にこのように声をかけてきます。日本人であることを説明するのですが、「日本人であっても一緒に撮ってほしい」と言われます。それほど彼らにとって、東洋人といえば韓国アイドルという認識が強いようです。

そんな中、4月26日にメキシコシティで韓国アイドル”BLACKPINK”のライブがありました。当初の予定では、26日の1日のみでしたが、チケットが即完売となり、27日に追加公演ができたほどの人気ぶりだったそうです。

私が行った26日は、会場に多くのメキシコ人が集まり、ライブが始まる数時間前から、照明がつくだけで歓声が上がったり、歌い始めるなど常に盛り上がっていました。BLACKPINKのメンバーが登場し、ライブが始まると、歌ったり、叫んだり、それぞれが思う存分楽しんでいました。

驚いたのは、アジア人の少なさです。メキシコには、多くのアジア人が住んでいるので、今回のBLACKPINKのライブには多少、私たちのような日本人や韓国人が来ていると思っていました。しかし、一緒に行った日墨生と私以外のアジ

ア人を見ることはなく、観客のほとんどがメキシコ人でいっぱいでした。そういった点からもメキシコでの BLACKPINK の人気の高さを感じることができました。

また、アンコールの際には、自然と“Cielito Lindo”の大合唱が始まりました。これは、メキシコ人の歌として昔から親しまれている歌で、メキシコ人にとって国家のような存在だそうです。誰かがその歌を歌い始めると周りの人たちも一緒に歌うのがメキシコでよくある光景で、メキシコ人としての誇りや喜びを感じた時に歌うことが多いそうです。フィエスタ（パーティー）で歌うことはありましたが、ライブでこの歌を歌うとは思わなかったので、驚いたと同時にメキシコらしくて良い光景だなと感動しました。韓国アイドルの人気度の高さを体感するだけでなく、日本のライブとは全く違う雰囲気、ここでもメキシカンスタイルを楽しむことができた時間となりました。

日本のアニメ、韓国のアイドルとそれぞれの文化がメキシコ人に与える影響力は想像以上でした。以前、グアナファト研修でグアナファト大学の学生と交流した中で「これまでは、日本人・韓国人・中国人を一括りに“China(中国人)”と呼ぶメキシコ人が多かったが、今はアニメやアイドルが人気になったことで、それぞれの国を区別する人が増えている。」と言っていたことを思い出しました。

アニメやアイドルの存在はそのような呼び方まで影響していることを知りました。

また、それらをきっかけに言語を勉強したり、日本や韓国に旅行するメキシコ人も多いようです。コロナウイルスの制限が緩和される中、広島にも多くの外国人観光客が見られるようになったと聞いています。日墨研修後に、メキシコ人をはじめとするスペイン語圏の人たちが旅行した際に、広島・日本のことをより好きになってもらえるような活動ができればと思います。



ライブ会場周辺の様子。
グッズショップで溢れていました



ライブの様子。
メキシコのライブは撮影可

MLB メキシコシティ開催

4月、メキシコシティではもう一つ大きなイベントがありました。アメリカの野球メジャーリーグのメキシコシリーズ開催です。メキシコでのメジャーリーグ開催は今回が初めてでした。4月29日、30日の2日間、サンディエゴ・パドレスとサンフランシスコ・ジャイアンツの試合がメキシコシティで行われました。

た。30日は、ダルビッシュ有投手が先発したので、ニュース等で見た方もいるのではないかと思います。

私は、30日に現地へ観戦に行きました。開門1時間以上前から列ができるなど、試合前からメキシコの国内リーグとは一味違った盛り上がりでした。中でも、開門の列に並んでいる時から、英語がよく聞こえ、アメリカから来た人が多いなという印象でした。一緒に列に並んでいたアメリカ人に理由を聞くと、パドレスの本拠地サンディエゴがメキシコから非常に近く、メキシコ初開催を生で観戦したいからと言っていました。

アメリカの野球ファンが多いこともあり、スタジアムの雰囲気もこれまでに経験したことのないメジャーリーグ独特の雰囲気で、とても楽しめました。また、メキシコ人やアメリカ人の野球ファンと交流するきっかけにもなり、メキシコシリーズだからこそできた経験でした。WBCの日本代表の活躍もあり、日本の野球に興味を持っている人も多かったので、今後も彼らと交流を続けていければと思います。

今回のメキシコシリーズは、メキシコの野球ファンだけでなく、アメリカの野球ファンにとっても大きなイベントだったと思います。メキシコシリーズは来年以降も毎年開催されるということなので、今後もどのような盛り上がりを見せるのか、またアメリカとメキシコ両国の野球を通じた交流がどのように発展し

ていくのかにも注目していきたいと思いました。



メキシコらしき全開のパドレスファン



日本人、メキシコ人、アメリカ人の
野球ファンが集まった1枚

メキシコシティで生活していると、メキシコ人だけでなく、ヨーロッパやアジアなどあらゆる国の人が住んでいるのを強く感じます。外資系の企業がメキシコに進出していることも要因の一つとして挙げられますが、それ以上にメキシコは「外国人」にとって住みやすい国だと感じています。私たちアジア人など外国人への差別はほとんどなく、逆に私たちの文化に興味を持ってくれるメキシコ人が多いです。メキシコ人が他文化に対して非常に寛容であることが外国人にとって住みやすい環境を創り出しているのではないかと思います。

私は、移民が多いメキシコでメキシコ国民がどのように多文化社会に対応しているかに関心を持ってきました。今回、これらのイベントを通して、実際にメキシコ人の国民性を間近で見ることができました。

残り 3 ヶ月、様々な形でより多くのメキシコ人と交流を続け、そのような点を深掘りしていきたいです。